

ふるさととつながる！

4月は、様々な学校行事が計画され、慌ただしく毎日が過ぎていますが、その一つ一つに大切な「ねらい」があり、子ども達の資質・能力の育成にも重要な役割を果たしています。

今回は、「ふるさととつながる」という視点で、2つの行事について紹介します。

1つ目は、4月12日（金）に実施した歓迎遠足です。今年度は、目的地を只狩山から「天保海岸」に変更しました。

天保海岸は、昨年度、6年生が理科の学習で活動した場所です。とても貴重な地層が見られ、五島市が認定を目指す「五島列島ジオパーク」のジオサイトの候補地にもなっていて、ふるさとの自慢の一つと考えました。

当日は朝から曇り空で、日程を変更しながらの遠足になりましたが、海岸に着くと青空が広がりだし、きらきらと輝く海的美しさを感じながら、楽しい時間を過ごすことができました。海の生き物やシーグラス等を夢中になって探す子ども達の姿を見ながら、身近なところにこのような素晴らしい自然があることを嬉しく思いました。



思いきり遊んだ後は、みんなで「ゴミ拾い」もしました。美しいふるさとを、もっともっと美しくするために、子ども達にもできることがあります。15分間という短い活動時間でしたが、大きなゴミ袋7つ分のゴミを集めることができました。きれいになった海岸を見ながら、子ども達もすがすがしい気持ちになったはずです。「ふるさとのためにできること」を考えて行動できる子どもに育っていくようにこれからも頑張っていきます。



もう一つは、4月22日（月）に実施した「トマト狩り」です。週間天気予報では、ずっと雨マークがついていましたが、当日は雨を心配することなく活動することができました。

今年で13回目を迎えるトマト狩りは、子ども達がとっても楽しみにしている行事の一つで、今年は1年生の保護者でもある橋本様のご厚意により実施できました。



真っ赤に実ったたくさんのトマトを見て興奮したり、もぎたてのトマトの甘さにびっくりしたりするなど、盈進小でしかできない貴重な体験ができ、とても有り難く思っています。

この活動を通して、そのふるさとの良さを知ってもらうとともに、地域の方々の優しさに気づき、いつも温かく支えられていることを感じて欲しいと思いました。

ふるさととつながるには、ふるさとの「人・こと・もの」をよく知り、積極的に関わっていくことが重要です。これからも、ふるさとの良さに気づかせる教育活動を推進するとともに、感謝の気持ちをしっかり育てていきたいと思います。